





	<p>トンネル被覆</p> <p>トンネル管理</p> <p>ソルゴー播種</p> <p>マルチがけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>霜害の回避と活着促進のため、定植後すぐにポリビニールでトンネル被覆する。尚、午後4時までにトンネルがけが終わるように1日の定植本数を考慮する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【トンネル被覆】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定植後2～3日間は活着を促すため密閉する。その後に換気作業に移る。ナスは35℃以上で花粉の活動が止まり落花する。また、10℃以下でも石ナスや変形果が多くなるので、トンネル内の温度には十分に注意する。</li> <li>午前8時頃に換気開始し、午後4時ごろに裾を閉じると良い。</li> <li>5月中旬頃から徐々に外気馴らしていき、霜害がなくなる下旬頃にはトンネルを取り除く。苗の生育が良い場合は、トンネルに触れないうちに早めに除去する。</li> <li>ソルゴーの播種を5月連休明けに行う。ソルゴーの畝にも少量の肥料をやる。</li> <li>トンネル除去後、透明マルチの上から黒マルチ（幅110cm）を2枚両畝肩から掛け全面を被覆する。</li> </ul>
<p>5月下旬～6月中旬</p>	<p><b>収穫期</b></p> <p>ホルモン処理</p> <p>支柱立て</p> <p>わきめ取り 整枝</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1～3番花の石ナスの防止および着果以後の生育を安定させるため、開花当日の花にトマトーン50倍液を花卉がぬれるまで噴霧する。尚、二重散布を避けるため食紅を入れる。</li> <li>支柱角度が60°程度になるように、直管パイプ支柱を組み合わせる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【支柱立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定植20日後位から下位部のわき芽を徐々に取り除く。</li> <li>主枝の仕立ては、主茎（1番花が付いている枝）とこれの側枝及び第一側枝とこれの側枝との4本仕立てとする。</li> <li>尚、下位の枝については1～2個の果実を収穫した後、除去する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【整枝方法】</p>

<p>6月下旬 ～ 8月下旬</p>	<p>誘引  追肥  切戻し剪定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誘引方法は「縦糸誘引」とし、合掌上段の直管パイプに35～37cmで等間隔にビニール紐（白糸系統が望ましい）を結び下段の直管パイプまで引き結び。このビニール紐に4本の主枝を誘引し、くくりつける。以後、主枝が伸びてきたら随時ビニール紐に結んでいく。この時「テープレー」を使用すると作業が簡易になる。</li> <li>・最初の追肥は、収穫始めと同時に施用する。追肥は生育を見て行なうが、原則として追肥開始～7月中旬までは10日間隔、7月下旬～8月末までは7日間隔とする。</li> <li>・苦土欠乏になると花が不良になるので15日置きにサンメイトを施用する。</li> <li>・側枝の第1花の蕾が大きくなったら、花上1葉を残して摘心して、ナスの収穫時に切戻しを行い、以後これを繰り返す。</li> <li>・夏期の樹勢が弱いときには変形果等を早めに摘果すると良い。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【切り戻し剪定手順】</p>
<p>9月下旬</p>	<p>敷きワラ  灌排水  収穫  主枝の摘心  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">秋冷期</span> 整枝・剪定  敷きワラ  追肥</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅雨明けの高湿期には根が弱るので、マルチ下または上にワラやカヤなどを敷く。尚、完熟堆肥をマルチ下に敷く方法も根を高温から保護する事ができる。</li> <li>・<b>土壌水分を一定に保つ事で根の活力が維持される。</b></li> <li>・土壌を湿った状態に保つために高温、乾燥期には夕方に灌水し、早朝に落水する。梅雨・豪雨のときは、たまり水のないように排水に努める。</li> <li>・収穫は原則として早朝に行い、100～120gを中心に収穫する。尚、収量の多い夏期は前日の夕方に収穫する事があるが、この場合気温が下がった夕方5時以降とし、果実の軸を長めに残す（出荷調整時に再度適当な長さに切る）と共に果実の上に濡れ布を掛け、屋内の涼しい場所に保管する。</li> <li>・主枝は14～15節（150cm～170cm）で摘心する。</li> <li>・9月下旬以降は原則として放任だが果実の収穫の見込めない側枝は間引き剪定する。</li> <li>・低温が続くと生育および果実の肥大が抑制されるので、地温の上昇を図るために枝、古葉を取除き地表面の日当たりを良くする。敷きワラは、地温の上昇を妨げるので除去する。</li> <li>・花数、果実数が少なくなり吸肥量も減少するので、10～15日間隔で追肥する。</li> </ul>

## 施肥基準

項目	肥料名	乾田壤土	乾田黒ボク土	乾田砂壤土	湿田埴壤土
土壌改良剤	堆肥	4000	4000	4000	4000
	バーク炭	100	100	100	100
	マグァース	120	120	120	120
	サンメイト	75	75	75	75
	ようりん	0	60	40	0
元肥	園芸用元肥 785	420	420	420	380
	ニトロエース 604	30	30	30	30
追肥例①	有機サスペンション3号	710	810	810	670
	サンメイト	75	75	75	75
追肥例②	ニトロエース 604	230	275	275	275
	油粕	480	480	480	480
	サンメイト	75	75	75	75

項目	肥料名	土壌タイプ	6月下旬		7月			8月			
			1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目
			収穫始	10日後	10日後	10日後	7日後	7日後	7日後	7日後	7日後
追肥例①	有機サスペンション3号	乾田壤土	50	50	50	50	60	60	60	60	60
		乾田黒ボク土	50	50	50	60	70	70	70	70	70
		乾田砂壤土	50	50	50	60	70	70	70	70	70
		湿田埴壤土	40	40	40	50	60	60	60	60	60
	サンメイト	各タイプ共通			15		15		15		15
追肥例②	ニトロエース 604	乾田壤土	15	15	15	15	20	20	20	20	20
		乾田黒ボク土	15	15	15	20	25	25	25	25	25
		乾田砂壤土	15	15	15	20	25	25	25	25	25
		湿田埴壤土	10	10	15	15	20	20	20	20	20
	油粕	各タイプ共通		80		80		80		80	
	サンメイト	各タイプ共通			15		15		15		15

項目	肥料名	土壌タイプ	回数					施用量
			10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	
			10日後	10日後	10日後	15日後	15日後	合計
追肥例①	有機サスペンション3号	乾田壤土	60	50	40	30	30	710
		乾田黒ボク土	60	60	50	40	40	810
		乾田砂壤土	60	60	50	40	40	810
		湿田埴壤土	50	50	40	30	30	670
	サンメイト	各タイプ共通		15				75
追肥例②	ニトロエース 604	乾田壤土	15	15	15	15	10	230
		乾田黒ボク土	20	20	15	15	15	275
		乾田砂壤土	20	20	15	15	15	275
		湿田埴壤土	15	15	15	10	10	215
	油粕	各タイプ共通	80		80			480
	サンメイト	各タイプ共通		15				75

希釈倍率 有機サスペンション3号：水＝1：3

## 病害虫防除基準

病害虫名	防除時期	薬剤名	使用濃度	使用量 (10aあたり)	使用時期 (収穫何日前まで)	使用回数	
アブラムシ	定植時	アクタラ粒5	1g/株	—	定植時	1	
	生育中	ハチハチ乳	1500倍	150～ 200g	前日	2	
ハダニ類	生育中	ピラニカEW	2000倍		前日	1	
チャノホリダニ	生育中	コテツフロアブル	2000倍		前日	2	
ダニ	生育中	ピラニカEW	2000倍		前日	(1)	
	生育中	モレスタン水	2000倍		前日	3	
スリップス類	生育中	コテツフロアブル	2000倍		前日	(2)	
フキノメイガ	生育中	アフーム乳	2000倍		前日	2	
	生育中	マッチ乳	2000倍		前日	4	
オオハコガ	生育中	デルフィン水(BT剤)	1000倍		前日	4	
ハモシトウ	生育中	マトリックフロアブル	2000倍		前日	3	
カメシ類	生育中	マラソン粉剤3	—		3kg	前日	6
灰色カビ病	生育中	セイビアーフロアブル20	1000倍		150～ 200g	前日	3
	生育中	カンタスドライフロアブル	1000倍	前日		3	
うどんこ病	生育中	ベルクート水	3000倍	前日		3	
	生育中	(モレスタン水)	2000倍	前日		(3)	
菌核病	生育中	ロブラール水	1000倍	前日	(4)		
展着剤	生育中	ダイコート	2000倍	—	前日	4	

## ナス病害虫基幹防除体系 (エコファーマー)

主要防除病害虫名	月旬 項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月						
		下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
害虫	アブラムシ	発生消長																								
		農薬名	アクタラ粒5												ハチハチ乳											
	ハダニ	発生消長																								
		農薬名	ピラニカEW																							
	チャノホリダニ	発生消長																								
		農薬名													モレスタン水									コテツフロアブル		
	スリップス類	発生消長																								
		農薬名	コテツフロアブル																							
	フキノメイガ	発生消長																								
		農薬名													アフーム乳									マッチ乳		
オオハコガ	発生消長																									
	農薬名													デルフィン水						デルフィン水						
ハモシトウ	発生消長																									
	農薬名	マトリックフロアブル																								
カメシ類	発生消長																									
	農薬名	マラソン粉剤3																								
病害	灰色カビ病	発生消長																								
		農薬名	カンタスドライフロアブル												セイビアーフロアブル			カンタスドライフロアブル								
	うどんこ病	発生消長																								
	農薬名													(モレスタン水)						ベルクート水						
菌核病	発生消長																									
	農薬名	ロブラール水																								

使用殺虫剤 10種類 (内1種類BT剤)      エコ栽培農産物農薬散布回数  
 使用殺菌剤 4種類      25回以内